

水でたどる歴史とあゆみ



水道料金の始まり～定額料金から計量料金へ～

名古屋市の水道は、大正3(1914)年9月1日に給水が開始されました。当初は水道メータが高価だったため、現在のように使用水量をはかって料金を算定するのではなく、家庭用では「1戸5人までは1カ月45銭」という定額料金でした。しかし、定額では無駄使いが多くなりがちで、給水量が給水能力を脅かすようになったため、大正9(1920)年度より水道メータの設置を行い、使用水量に応じて水道料金をいただく計量制へと切り替えました。同年4月1日からの水道料金には最低給水料が設けられ、超過料金については全て計量によることとなりました。料金は、10立方尺(約0.278m³)につき1銭2厘5毛でした。



節水を呼び掛けるビラ
(大正時代)

名古屋市の歴代マンホールのふた

平成9年から採用されました。JIS規格や下水道協会規格の改定に伴い、25トンの重量に耐える規格へ変更しました。それに合わせ下水道をお客さまにアピールするため、デザインに名古屋市上下水道局のイメージキャラクターであるアメンボを採用しました。

アメンボデザインふた



水の歴史資料館
HISTORICAL MUSEUM OF WATERWORKS AND SEWERAGE

開館時間：午前9時30分～午後4時30分
休館日：月曜日(休日の場合は直後の平日)
4/15(水)現在、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、5/10(日)まで臨時休館中です。